

議会活動の在り方検討特別委員会記録

招集（開催）年月日	令和6年8月9日（金）	
招集（開催）場 所	岩美町役場 全員協議会室	
出 席 委 員	田中克美委員長、宮本純一副委員長、升井祐子委員、森田洋子委員、吉田保雄委員、田中伸吾委員、寺垣智章委員、川口耕司委員、柳正敏委員、足立義明委員、澤治樹委員（副議長）	
欠 席 委 員	なし	
議 長 の 出 席	あり	
職 務 出 席 者	中島議会事務局長	
傍 聴 者	なし	
開 会	10時49分	
記 録 者	議会事務局 宮内書記	
調 査 事 項	別紙日程表のとおり	
協 議 の 経 過		
日 程	発 言 者	内 容
開会	田中克美委員長	*起立、礼 始める。 橋本議長あいさつをお願いする。
あいさつ	橋本議長	今期議会も2年経過し、半分終わったというところだ。その中で、本議会の一つの懸案であった町民との意見交換会を6月23日に実施する事ができた。これも継続的にやらないといけないと思っているので、時間配分とか進め方などいろいろ反省点を踏まえて、もし次にするときには、より良い話し合いができるような会にしていきたいと思うし、意見もたくさん出ていた。それをどういうふうに政策にまとめていただくか、常任委員会を中心に検討していただきたいと思っている。そして議員報酬の件についても、早急に進めていただきたいと思っている。国家公務員の初任給も大幅に上がるというような新聞記事も出ていた。諸物価も高騰しており、本町の議員報酬についても例外ではないと思っている。これについても早急な結論を出していただくようお願いしておきたいと思う。
協議事項 （1）	田中克美委員長	それでは協議事項に移る。 冒頭だが、副委員長の宮本純一委員から、副委員長の辞任願が提出されている。本日、受理したところだ。最初にこの件を議題にしたいと思う。よろしいか。 それでは読み上げる。「議会活動の在り方検討特別委員会委員長様、議会活動の在り方検討特別委員会副委員長宮本純一、辞任願、このたび一身上の都合により議会活動の在り方検討特別委員会副委員長を辞任したいので許可されるようお願いします。」ということだ。

		許可するかしないかというのを皆さんに判断していただくわけだが、それにあたり、宮本委員の方から発言を。判断できる範囲で。
	宮本副委員長	この度辞任届を出させていただいた。特別委員会の副委員長という大変重責だということは重々承知した中で、2年間やらせていただいた。その中で、あと2年しかない。議員報酬のことをさらにスピードアップしていきたいなど。私の力ではどうももう少し推進力が足りないのかなという思いもある。また、この度常任委員会も含めて2年で改選が行われたという事について、先般お受けした時には、議運の副委員長だから副委員長を、というような背景もあった。 一番の思いは、議員報酬の件を成し遂げて結果を早く出してほしいという思いの中で、スピード感のある人材を副委員長に入れて、推進してほしいという思いだ。勝手ではあるが、これが私の思いだ。よろしくお願いします。
	田中克美委員長	ただいま宮本委員からこの辞任願に至るご本人の抱いてる思いをきかせていただいた。 副委員長の辞任を許可してよろしいか。
	柳委員	僕は辞任すべきじゃないと思っている。 1つは、特別委員会は任期が無いということ。結論を出すまでというのが一つの任期ということで1年2年という任期はないということと、それから、スピード感がないということ。辞任の理由として言われたが、一つずつ根拠をもって町民さんに対して自分達の考えを示すべくということで、時間がかかったのは当然である。やっと積み上げて、いざ結論を出すという段階に入っているのは全議員が承知していると思う。力があるとかないとか、じゃあ今までは何だったんですかということにならぬよう、せめて議員報酬について決着していただきたい。 もうひとつ最後に言わせていただくと委員長副委員長はセットだと思うので、よろしくお願いします。 改めて結論として私は辞任すべきじゃないと思っているということだけ申し上げる。
	澤委員（副議長）	私は辞任を認めて、これを機会に委員長副委員長を刷新した方が良くと思う。岩美町議会がいつまでも年長議員が委員長で何もできんというような、誤解を与えるような印象があったのではなんと思うので、この際若手の方に代わってもらった方が良く思う。
	柳委員	副議長、僕が委員長副委員長はセットだと言ったのはそういう意味合いではなくして、今のを素直に同僚議員が受け止めると今までのそれなりの仕事ができなかったみたいにも取れるが、僕はきちっとやられてきたと思っているので。他の町村が議論なされた以上にきちっとした根拠立てをされて、

		いろんな情報を集められて、やっと積み上げて今結論を出すという瞬間なので。議会の改革はいろんな部分でずっとこれから継続していくものだと思うが、ただ、議員報酬については、もう今を逃してはならんという機会なので、せめてお2人がこの議員報酬について結論を出していただきたい。今までのこの2年間をかけたという、そういう責任を持って、そこまでは仕上げていただきたいと思うということを申し上げた。 決して私は委員長副委員長の力が及ばなかったなんて思っていないし、今までやってきたこと、皆さんがご承知の通りいろんな情報を集められて喧々譁々の検討をなされて、今もうここで結論を出すタイミングなので、何卒責任を果たしていただきたいという思いで、辞任は認めるべきではないという意見を述べさせていただいたということだ。
	足立委員	両方の意見が出てるが、してきたことを否定するようなことはやめよう。澤副議長もそういうことを言っとるわけじゃないと思う。きょうまでやってきた結論を誰も否定してない。ただ最近、今副委員長が言われたようなことでいろいろ意見も出てきとるのも事実。だから皆さんでそれをどうした方がいいかということをお場で結論を出せばいいだけであって、きょうまでのことの評価やそんなことはやめよう。そうしないとこれから誰も受けられない。 澤副議長の意見も一つの意見だし、皆さんにその辺を委員長諮ってほしい。
	田中克美委員長	諮り方がなかなか難しい。
	澤委員（副議長）	皆に意見を言ってもらえばいい。
	田中克美委員長	今、宮本副委員長から、一身上の都合の中身を触れてもらったし、辞めるべきではないという意見もあるし、澤副議長からはこの際だから若手に両方とも代わってしまえという意見もある。あと、実はきょうは、この委員会が終わった後に議員報酬の小委員会をやることにしてるが、いよいよ報酬額の算定に取り掛かるということにスタートしようとしてるのだが、そういうことも含めて、今出ている委員長副委員長の問題について、皆さんの率直なところを聞かせただけか。 升井委員から。
	升井委員	五分五分で悩んでいて、澤副議長が言われたように一新してするのもいいと思うが、もう少しで報酬の問題もついで、ここまで積み上げたというところもあって、本当に五分五分だが、どちらもいいと思う。
	森田委員	私は、宮本副委員長の思いは受け止めているし、実際私も思うところはあるが、積み上げてきたものもあり、議論も重ねてきたし、この体制をまた変えると言うのはある意味大変

		じゃないかと思うので、思いはしっかり受け止めていきたいと思っているので、副委員長を続行していただきたいという意見だ。
	吉田委員	私はもう、そろそろ結論をきちっと出すような形で委員長副委員長、頑張ってほしいなと思う。
	田中伸吾委員	私も委員長副委員長継続してやっていただければと思う。 せめて議員報酬のかたがつくまでは、今の委員長副委員長体制でやっていただいて、また議員報酬のこの結論が出た時点でもう一度、今度は議会改革の在り方というのはまた長期にわたっての懸案事項になると思うので、そこら辺で。今の時点ではお2人に継続していただければと思っている。
	寺垣委員	僕も継続していただきたいと思っている。
	川口委員	私も引き続きお願いしたいと思う。
	柳委員	改めて。議会改革は議会が存続する以上永遠のテーマなので、その時には新しい委員長副委員長のもとでもやるべきだと思うが、議員報酬でこのタイミングということがあるので、せめてここだけは結論に結び付けていただきたいということだ。
休憩 再開	田中克美委員長	しばらく休憩する。 11時04分 再開する。 11時06分
	足立委員	最近の委員会の進め方とか云々で、変わった方がという意見が多々出ていたものだから、そういう意味では、僕は、一新して結論を早めた方がいいというふうに思っていた。
	澤委員（副議長）	皆さんの意見を聞いたら、民主主義だから多い方に従わざるを得ないが、岩美町議会の一番年長議員が何年も委員会の委員長にいて、若い人らはできんのかというような言われ方を他の議会からされるのも議会としては恥だ。そういう思いがある。 もう既に今までやられたことはそれはそれで認める。けどまだまだ有望な議員さんはたくさんおられるわけだから、そういう人たちの出る幕を作ってあげていかないと、そうしないと人材も育っていかんじゃないかと。そういうことも感じている。 それからもう一つ、これ今言っているかどうかちょっと分からないが、先ほど小委員会で報酬のことを話すと言われたが、小委員会は6名だな。そうすると他の6名の報酬に対する意見はどう汲みとめていくのか。言える機会があるのか。その辺をはっきりしておかないと、6人だけで決めるというやり方は、ちょっとおかしいんじゃないかなと。これ一つ意見として言っておく。

	田中克美委員長	それでは、委員長副委員長のことについて、宮本副委員長から辞任願が出されて、皆さんそれぞれの意見を聞かせていただいたが、結論を言えば辞めるなというのが多数だったということだ。これはどういう風に扱ったらいいか。撤回ができるのか、それとも認めないということでもいいのか。
	足立委員	きちっとしたルールの中でやらないと。後でどうだったこうだったじゃなくて。辞表が出た場合にどうこうっていうのが特別委員会の中であるのか。確認した上で進めないで。
	中島議会事務局長	この委員会の中で認めないということであれば引き続きということになる。
	田中克美委員長	結論としては引き続きやることになるが、その辞任願の扱いが、例えば取り下げということもあるのかという話なのだが。
	足立委員	それがルール上あるかということだ。それを確認しとかなきゃいけない。
	柳委員	副委員長が委員長宛てに出して委員長は受理したと言われた。だから取り下げはきかないと僕は思うが、今言われたように改めて確認して。
	足立委員	すぐに確認してきたほうがいい。
	田中克美委員長	それができるのかどうか気になった。 受理しただけじゃなくて、正式に議題にあげてるが、手続き的にそういうことが可能なのかどうかちょっと確認したい。
休憩 再開		しばらく休憩する。 11時12分 再開する。 11時24分
	田中克美委員長	それではいろんな思いや意見があるとは思いますが、今、当面しているとりわけ議員報酬の問題について、田中宮本体制で全力を尽くすと。 ただ単に力を尽くすだけじゃなしに、結論を得るということに邁進したいと思うので、よろしくお願いします。
	宮本副委員長	大変お時間いただき申し訳ない。皆さんの思いを結果として出せるように、一生懸命頑張らせていただく。よろしくお願いします。
	澤委員（副議長）	進められるのは構わないが、今の議会だよりに出されたスケジュールでは遅い。間に合わない。
	田中克美委員長	あのスケジュールに今のペースでは間に合わないという意味か、それともそもそもあのスケジュールが達成されたとしても間に合わないということか。
	澤委員（副議長）	財政面から考えたら遅すぎる。今までのような回数でしていても報酬を決めるのには間に合わないと思う。

	田中克美委員長	今言われてるのは、そもそも議会だよりで示したあのスケジュールでやれたとしても、来年実施には間に合わないという意味か。
	澤委員（副議長）	だから、あれを変える必要があるということ。 もっと早めるようなスケジュールに。
	田中克美委員長	スケジュールの通りにいけばあれで間に合う予定だ。予定で行けば予算要求までに結論を出すということにしている。だからもちろん月1回のペースでは間に合わないことははっきりしている。
	澤委員（副議長）	今後のスケジュールでは予算要求はいつされる予定か。
	田中克美委員長	予算要求は年内だ。遅くても12月まで。
	澤委員（副議長）	それで本当に執行部の方は大丈夫なのか。
	田中克美委員長	予算編成方針をいつ出されると思っているか。
	澤委員（副議長）	もっと早くから予算編成はかかる。
	田中克美委員長	それは分かる、実際の事務上はそうだ。
	澤委員（副議長）	だからそれに合わせて早く。
	田中克美委員長	予算編成方針を町長が出されるのはいつかということだ。
	澤委員（副議長）	局長がよく知っておられる。
	中島議会事務局長	例年では12月の中旬か11月の下旬だ。
	田中克美委員長	12月の中旬だろう。それを見越して立ててるスケジュールだ。ただ、今までのペースではそれに間に合わないというのは思っている。
	澤委員（副議長）	思っておられるならいい。
	田中克美委員長	その思いがなかったら、2回目の議会だよりでの公表はしてない。それで焦ってるんだが、それでさっきも言ったが、きょう小委員会で具体的な算定の問題の議論に入る予定で、これは寺垣小委員長とも事前の相談をして、そういうふうに運ぶ予定にしている。
	澤委員（副議長）	報酬も小委員会で決めるということか。
	田中克美委員長	たたき台を小委員会で作るということだ。それで、この全体の特別委員会で議論してもらうということだ。
	澤委員（副議長）	これからたたき台を出されるということか。
	田中克美委員長	そうだ。たたき台の計算に入るつもりだ。そういう段取りでいこうと先日寺垣小委員長とも打ち合わせをして、きょう小委員会でその議論にかかることにしている。
	澤委員（副議長）	小委員会があるならあるでいいが、途中経過なんかも出してもらわないと。小委員会がどこまで何しとるんだかさっぱり見えない。
	田中克美委員長	すまない。はっきり見えるような報告ができないということだったので、皆さんに報告ができていない。それはお詫びする。 9月も定例会があるが、定例会中にも1回と言わずもう少

		し、全体の特別委員会で報酬問題を議論するということになる可能性は大いにある。
	澤委員（副議長）	じゃあ小委員会の回数を極力増やして早く結論を出して。
	田中克美委員長	そのつもりだ。
	升井委員	私は何かこういうふうに話をしてる間にでも、皆さんに報酬の意見でもどんどん出してもらって、意見を集めた上で小委員会した方がいいんじゃないかなと思う。始めに小委員会ありきじゃなくて、こういう時間がもったいないというか、こんな時間でもみんなに意見を聞いて、意見を集めた上で小委員会したらいいと思う。
	柳委員	委員長、確認だが、報酬についての考え方をきょうぐらいにはある程度結論を出されて、こういう方向でいこうという報告が、次にはできる体制をとられるということだな。
	足立委員	それと升井委員、もう小委員会を作って進めてもらってるから、小委員会を侮辱するような発言になると思う。やっぱり小委員会の皆さんに一旦任せてるんだから。
	升井委員	侮辱はしてないが、そういうふうに取りられたならすまない。
	田中克美委員長	はっきり言って算定についての具体的な意見が出せる方向性が小委員会できちっとできてない。だからきょうはそれをやる。議論はしてきたけども、それをまとめる方向までいってなかったの、きょうは先を急ぐために、小委員会で算定に向けた出発をしたいということを、寺垣小委員長と打ち合わせをして、きょう小委員会をということなので、ご理解願う。
その他	澤委員（副議長）	もう一ついいか。 意見交換会のことはきょうはいいのか。2か月近く経つがそのまま置いておくのか。それも大事じゃないか。
	田中克美委員長	その問題はここではやる予定にしてない。常任委員会に提起した状態で留まっている。それを進めていただくということが肝心だが、その問題については、各常任委員会の正副委員長が小委員会に出席されるので、そのときに合わせてその問題についても少し議論するかなと思っている。
	澤委員（副議長）	議会活動の在り方検討特別委員会としてはもうノータッチということか。
	田中克美委員長	いやいや、意見交換会を踏まえて、、、
	足立委員	委員長、きょうはこの日程だとはっきり言っていて、この場はもう終わろう。次の小委員会もあるし。
	田中克美委員長	澤委員、本日は、議会活動の在り方検討特別委員会として意見交換会についてやるという予定にはしてない。それでご承知いただきたい。 その他何かあるか。

	皆	なし。
閉会	田中克美委員長	以上で閉会する。 ＊起立、礼 11時35分閉会

上記のとおり会議の次第を記録し
これを証するため、ここに署名する

議会活動の在り方検討特別委員会委員長

田中克美